

なびあ

NAGASAKI INTERNATIONAL ASSOCIATION

VOL 107
2020.6



2020年2月14日(金) 令和元年度災害時多言語ボランティア養成講座の様子(長崎県庁にて)

Contents

●事業報告

- ・長崎県災害多言語支援センターの設置・運営に関する協定を締結しました…………… 2
- ・令和元年度通訳ボランティアステップアップセミナーを開催しました！…………… 3
- ・令和元年度災害時多言語ボランティア養成講座を開催しました！…………… 3

●在住外国人支援

- ・災害が起こったら？
在住外国人のためにわたしたちができること…………… 4
- ・みんなで「やさしい日本語」(全4回)
～第1回:「やさしい日本語」って何?～…………… 4

●コラム

- ・長崎県在住外国人インタビュー 世界から長崎へ…………… 5
- ・崔国際交流員(CIR)と一緒に韓国料理を作ってみね！…………… 5

●JICAデスク長崎からお知らせ

- ・JICAデスク長崎に新しい国際協力推進員さんが配属されました！…………… 6
- ・JICAデスク長崎とは？…………… 6

●世界でキラリ☆JICA海外協力隊

- ・JUMBO! 子どもたちと学び合った2年間…………… 7

●協会からのお知らせ

- ・協会から助成についてのお知らせ…………… 8
- ・賛助会員の募集…………… 8

協会公式「facebook ページ」で
さまざまな情報を発信しています！

いいね！&
フォローをお願いします♪



私たちは賛助会員として協会を応援しています

- | | |
|---------------|-----------------|
| 安達株式会社 | 長崎空港ビルディング株式会社 |
| ヤナセ産業株式会社 | 扇精光ホールディングス株式会社 |
| 長崎県青果移出商業協同組合 | |



公益財団法人 長崎県国際交流協会

〒850-0862 長崎県長崎市出島町2番11号



TEL 095-823-3931

095-823-3929

FAX 095-822-1551

Eメール nia@nia.or.jp

HP https://www.nia.or.jp/

FB https://www.facebook.com/nia.nagasaki/

事業報告

長崎県災害多言語支援センターの 設置・運営に関する協定を締結しました

■ 長崎県災害多言語支援センターとは？

長崎県災害対策本部が設置される災害時に、長崎県と公益財団法人長崎県国際交流協会が協働で運営し、外国人支援を円滑に行うためのセンターです。

被災市町や災害多言語ボランティアの方々にも協力してもらって、被災した在住外国人への情報提供や相談対応、各種の支援を行います。

令和2年3月24日(火)に災害多言語支援センター協定書締結式が行われました。

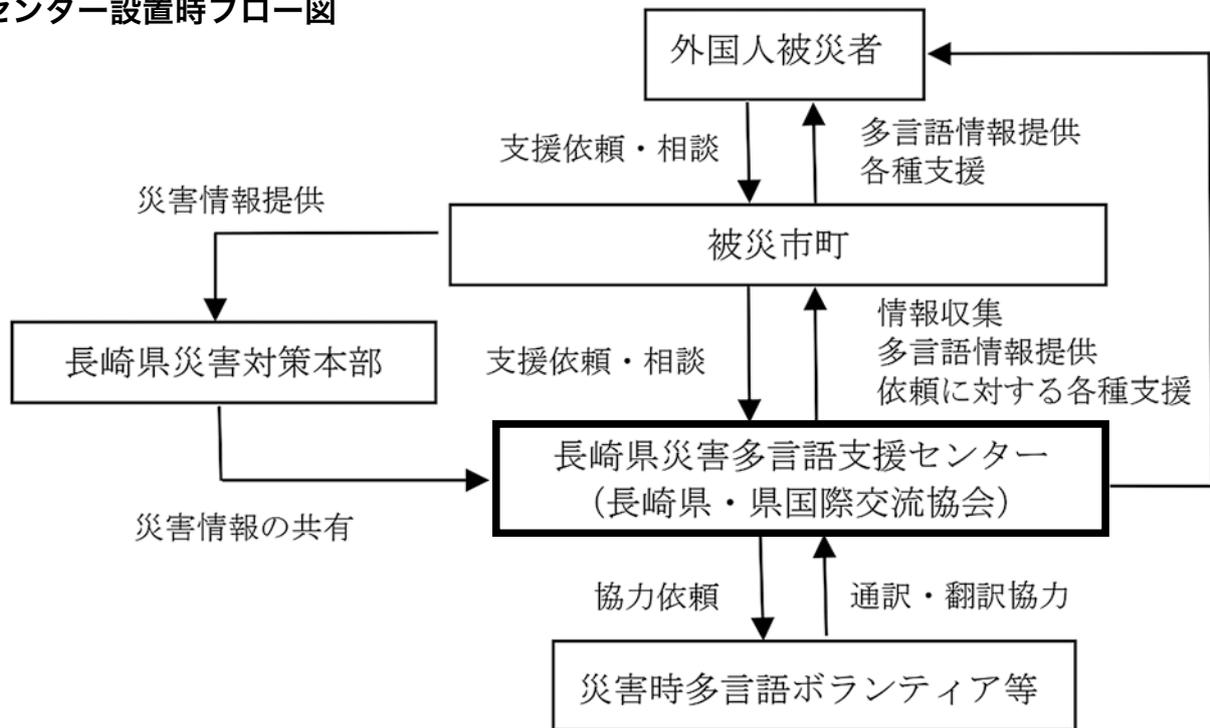


■ センターの役割

- ①やさしい日本語や多言語による情報の提供
- ②外国人からの相談・問い合わせ等への対応
- ③外国人の避難状況等の把握
- ④関係機関と連携した外国人支援



■ センター設置時フロー図



災害多言語ボランティア登録のお願い



当協会では、災害多言語ボランティアを募集しています。
募集要項や登録申込書は協会HPからダウンロードしてください。
<https://www.nia.or.jp/record/index.php/view/2>



事業報告

令和元年度 通訳ボランティアステップアップセミナー を開催しました!

講師

小川 美由紀 氏

全国通訳案内士
長崎県地域限定通訳案内士

令和2年2月14日(金) 午前長崎県庁(長崎市尾上町3-1)にて「令和元年度通訳ボランティアステップアップセミナー」を開催しました。当協会では、通訳・翻訳ボランティア登録制度を設け、国際観光船をはじめ観光目的で来崎する外国人のための通訳ボランティアの派遣や、観光ガイド等の研修会を実施して通訳ボランティアの皆様のスキルアップを図っています。今回は全国通訳案内士で長崎県地域限定通訳案内士の小川美由紀氏を講師にお招きし、長崎県内で活躍している通訳・翻訳ボランティア18名の方々にご参加いただきました。



セミナーの様子

＜参加者の声＞

- ・実際に活躍されている方の経験を通じて、注意すべき点やポイント等を話していただき、これから実践する私にとって非常に参考になりました。
- ・とても参考になりました。相手に対する心配りを大切にしたいです。
- ・具体的な本例をもとに、参考となる話をたくさん聞かせていただきました。

令和元年度 災害時多言語ボランティア養成講座 を開催しました!

講師

岩城 あすか 氏

公益財団法人 箕面市国際交流協会
総務課長

令和2年2月14日(金) 午後長崎県庁(長崎市尾上町3-1)にて「令和元年度災害時多言語ボランティア養成講座」を開催しました。外国人には言葉や文化の違いや日本の災害に関する知識の少なさから災害情報が伝わりにくいため、当協会では災害時に適切な外国人支援ができる多言語ボランティアの養成を目的として開催しています。今回は公益財団法人箕面市国際交流協会総務課長の岩城あすか氏を講師としてお招きし、長崎県・市町・国際交流団体の担当者及び長崎県内で活躍している通訳・翻訳ボランティア等53名が真剣に耳を傾けていました。



講座の様子

＜参加者の声＞

- ・実体験をふまえたお話だったのでとてもためになりました。長崎でも災害時のボランティアをするときに色々な課題が出てくるということがわかり心構えができたのが良かったです。
- ・色々な役に立つアプリ、外国人から見た災害時の問題、普段のことについても知ることが出来てよかったです。

在住外国人支援



在住外国人のためにわたしたちができること

災害が起こったら、様々な年齢・性別・人種・宗教の人々が同じ避難所で生活を共にする可能性があります。そのような事態になってしまったら、お互いに思いやりを持って助け合いながら生活しなければなりません。特に、言葉や文化が違う土地で、さらに日本の災害に慣れていない外国人の方々には特別な配慮や支援が必要な場合があります。そんなとき、わたしたちにもできることをご紹介します！



◆ 声掛け

「困ったことはないですか？」では本音が返ってこないで、「どこか痛いところはないですか?」「ご飯は食べていますか?」「疲れていませんか?」など、具体的な質問を投げかけるようにしましょう。



◆ 宗教によるちがいがへの配慮

イスラム教「ハラール」については、単に豚肉やお酒を摂取してはいけませんがではありません。牛肉や鶏肉の料理でも、調理の課程でラード（料理用の豚脂肪）やアルコールが含まれる調味料が使われている場合は食べることができません。また、飲食物に限らず、アルコールが使われているウェットティッシュなども使用できないなど、細かな注意が必要ですので配慮しましょう。

みんなで「やさしい日本語」(全4回)

～第1回：「やさしい日本語」って何?～

著：みんなで暮らす凸凹ひろば
桑戸（日本語教師）

今、さまざまな場面で注目されている「やさしい日本語」について紹介します！

【やさしい日本語って?】

普段使っている日本語より簡単で、外国人やお年寄り、子ども、障害のある人など、みんなにわかりやすい日本語のことです。

【作られたきっかけは?】

1995年、阪神淡路大震災のとき日本語での情報がわからず困った外国人がいました。大切な情報を伝えられるように、「やさしい日本語」が作られました。

やさしい日本語の

- 「やさしい」には、
 - ①優しい気持ち
 - ②易しい言葉
- という二つの意味があります！



☆「やさしい日本語」の例：こんなふうに言い換えられます！

至急避難してください

すぐ、逃げてください

外出は避けてください

外に出ないでください

停電です！

電気が止まっています



◆ いろいろなところで使えます ◆



*次回は身近な活用例を紹介します。

コラム

長崎県在住外国人インタビュー



世界から長崎へ

Q1：お名前を教えてください。

Duong My Nhi (ジュン・ミー・ニー) といいます。



Q2：なぜ長崎で暮らすことになったのですか？

私が育ったのは、ベトナムのホーチミン市で、地震が全然ない所です。長崎も地震があまりなく、安心して暮らせます。それに、海や山等に囲まれた自然豊かなエリアで、魅力的な街並みや坂道等があって、住んでいて心も晴れると思ったからです。また、ベトナムでは大学の日本語学科に通っていたので、語学を生かせる日本の会社に就職したいと思いました。

Q3：好きなことは何ですか？

広い公園を一人で散歩したり読書したり、ゴロゴロしてリラックスするのが大好きです。なぜなら、賑やかでバイクだらけのホーチミンと違い、長崎は、ほとんどの公園が山や海等に囲まれているので、多忙な生活でも心が落ち着くからです。

Q4：長崎の楽しみ方を教えてください。

いろんな交流会のスペースやイベント等に参加すれば、いろんな人や文化等に触れることが出来て、忙しくてマンネリ化した毎日でも楽しむことができます。例えば、日本語のチャットルームなどでは、日本語を学ぶだけではなく、国籍や年齢差等に関わらず、みんなの考えを共有でき、自分自身にもあてはめられて、楽しいです。

【崔国際交流員(CIR)と一緒に韓国料理を作ってみね！】

ヤンベチュ コッチョリ
양배추 절절이
キャベツ 浅漬けキムチ

※「コッチョリ(コッ:表面、チョリ:漬けたもの)」とは？
白菜やサンチュなど野菜の表面を軽く塩漬けにし、唐辛子の入った味付けで和えた韓国料理



崔CIRが作った「ヤンベチュコッチョリ」

「コッチョリ」は
とても簡単で
誰でも美味しく作れます！
白菜、サンチュ、ニラ、大根など
皆さんのお好きな野菜で
作ってみね！

材料



味付け

- おろし玉ねぎ(玉ねぎ 1/2 個)
- 唐辛子 大さじ5
- おろしにんにく 大さじ1
- 砂糖又は梅肉エキス 大さじ2
- カナリエクス 大さじ3 ※
- 塩 大さじ1/2
- みじん切りのねぎ 大さじ3
- ごま

※カナリエクス…イカナゴの魚醤油

作り方

- ① キャベツの塩漬け方
:キャベツを一口大に切り、塩と適度な水を入れて混ぜる
時々上下を裏返ししながら40分～1時間置き、洗って水気を取る
- ② 玉ねぎ・にんじんは千切り、ニラは5～7cmの幅で切る
- ③ 塩漬けしたキャベツ・玉ねぎ・にんにくに味付けを入れてもみ込む
- ④ ニラは後から入れてやさしくもみ込む
- ⑤ 味見しながら味付けを加え、最後にごまを入れる

JICAデスク長崎からお知らせ

JICAデスク長崎に新しい国際協力推進員さんが配属されました！

ආයුබෝවන් (あゆぼわん) = 「こんにちは」 「あなたが長生きできますように」



戸崎 千尋 (とさき ちひろ) [スリランカ・高齢者介護]

みなさん初めまして！わたしは4月から長崎県のJICA窓口・国際協力推進員としてお仕事させていただいております、戸崎千尋です。2017年の1月から2年間、スリランカで「高齢者介護」隊員として活動してきました。

気軽に遊びに来てください。どうぞよろしくお願いいたします。



スリランカ民主社会主義共和国（通称：スリランカ）はインドの南に位置し、紅茶で有名な島国です。《午後の紅茶》はスリランカのお茶っ葉なんです！

「スリランカ」という国名は「光り輝く島」という意味。首都はスリジャヤワルダナプラコッテ。(地図画像は外務省HPより)



スリランカの高齢者のみなさんと健康について考えたり、介護予防の体操を行いました。みなさんの笑顔がとても素敵で、わたしが元気をもらっていたような気がします。

JICAデスク長崎とは？



JICA(独立行政法人 国際協力機構) って何？

→日本政府による政府開発援助 (ODA) の実施機関

開発途上国の貧困・環境問題・感染症・紛争など、世界のさまざまな問題の解決に取り組んでいます。

JICAデスク長崎 って何してるの？

→ JICA 海外協力隊の応募相談や、民間企業の海外展開の相談、自治体や教育機関との連携、学校などに出向いての出前講座、国際交流イベントの開催など。



みなさんの国際協力の第1歩のお手伝いをさせてください！

気軽にお声掛けいただくと嬉しいです。

出島交流会館1階でお待ちしています。

世界でキラリ★JICA海外協力隊



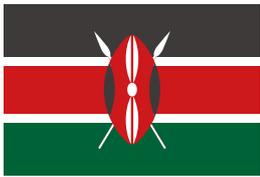
JUMBO!

子どもたちと学び合った2年間

黒田 篤槻(くろだ あつき)さん

【2017年(平成29年)3次隊 ケニア・青少年活動】

世界中で活躍するJICA海外協力隊。2017年1月から2年間、ケニアのエルドレットにて「青少年活動」隊員として活動をしてきた黒田さんにお話を聞きました!



ケニア共和国(通称ケニア)は、東アフリカに位置する共和制国家。イギリス連邦加盟国です。北にエチオピア、西にウガンダ、南にタンザニア、東にソマリアと国境を接しています。首都はナイロビ。

(地図画像は外務省HPより)



「ジャンボ!」どこかで聞いたことがあるような、ないような。そんな挨拶が飛び交う国が、長崎から遠く離れたアフリカの東にあります。国の名前はケニア共和国。動物やマサイ族でおなじみの国ですね。

私は、そこケニアで2年間、児童拘置所の中に暮らす子どもたちの先生をしていました。児童拘置所とは、罪を犯したり路上生活をしていたりして、逮捕・補導された子どもたちが、一時的に拘置される施設です。やんちゃな子どもたちが多く、活動は毎日が体当たりでした。もちろん、元気で自由奔放な子どもたちに元気をもらうこともたくさんありますが、授業をするとなると話は別。準備がなかなかできない、なかなか静かにならない。そんな中で、数人の子どもたちに協力をしてもらいながら、教科書を用いた自主学习や、裁縫・アートなど様々な授業を行いました。いつも、自分にできることはなんだろうとひたすら問い続ける2年間でした。

私のケニアでの活動が終わる頃、一人の教え子からSNSでメッセージが届きました。「あなたに正しい生き方を教えてもらった、二度と泥棒には戻らない。ありがとう」という内容でした。私の些細な力でも、少しは彼らの心に届いたのでしょ

うか。ケニアは、自然豊かでたくさんの動物が暮らす国です。そして陽気な人々が暮らす素晴らしい国です。遠いところがありますが、長崎の皆様も、ぜひ、人生で一度は行ってみてください。アフリカの景色と人々に、きっと視界が開けます。



施設内の様子



思い思いに勉強する子供達



ストリートチルドレンとの交流

協会からのお知らせ

協会から助成についてのお知らせ

国際交流応援プロジェクト ～2つのサポート～

1 国際交流スタート支援 ～あなたの初めての国際交流を応援！～

募集期間：令和2年4月～6月

- ・企画・運営などをサポートします。
- ・上限10万円で実施経費の一部を助成します。
※対象となる経費が決まっています。

一緒に最初の一步を
踏み出しませんか？



初めての国際交流



海外からの留学生との交流

2 草の根国際交流支援 ～国際交流事業を行っているあなたを応援！～

募集期間：随時

- ・上限10万円で対象経費（講師などの謝礼・交通費、会場使用料など）の1/2以内を助成します。

末長い交流をしませんか？



海外のさまざまな食で交流



世界の言語との出会い

東アジア相互交流促進事業

募集期間：令和2年4月～6月

日本・中国・韓国の相互交流支援 ～3か国での交流を応援！～

- ・対象経費について、1事業45万円以内を助成します。
- ・対象経費は中国及び韓国からの参加者の県内における宿泊費用です。
※ 1人当たり1泊の費用は、朝食代を含む1万5千円が上限です。

交流の方法はさまざま！
スポーツ・文化・芸術など

※上記プロジェクト及び事業は、長崎県の令和2年度予算の成立が前提となり、予算の成立状況によっては事業内容や実施時期等に変更が生じる可能性がありますので、ご注意ください。

協会を応援して下さる賛助会員を募集しています！

年会費 個人会員：3,000円 法人会員：10,000円

- ・賛助会員になって、長崎県の国際交流や国際協力の活動を支えたい、在住外国人の支援をしたいという方や詳細をお知りになりたい方は、是非、当協会までお気軽にお問い合わせください！